



# 消費者や地域に喜ばれる農業を！

**令和5年度  
スタート**

## 情熱と理念を持って就農

# 研修農場新聞

**2面拡大号**

(公財) 農林水産振興財団  
八王子研修農場  
(発行責任者)  
農場長 小寺孝治  
(無料)

研修農場では、第2期生が研修を修了し、4月からは第4期生が入講。東京で農家になる仲間たちとともに、元気に明るく東京農業の可能性を切り拓いていきたい。

### 2年間でステップアップ

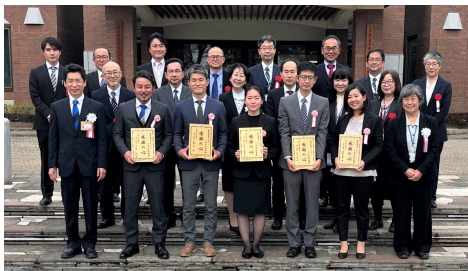
第2期生の研修成果報告会が3月17日に立川庁舎講堂にて行われた。

それぞれが2年次に将来生産しようとする作物の実証栽培結果や経営的な評価などを報告し、行政や普及センター等からも助言等を行なった。報告会になった。

その中で、全員が自分の農業経営に対する理念を語っており、信念をもって営農していかうことにも心強く、誇らしくも感じた。



最後に岩瀬理事長からは①上手くいかなかった時の対応を大切に！②自分の考えをしっかり伝える！③世の中の動きに敏感に！と3



令和4年度 第二期生 修了式



つの視点で事例を交えながら今後の経営に向けての応援メッセージが送られた。そして、桜が咲き誇る3月24日には、第2期生の修了式が厳かかつ華やかに行われた。

### 第3期生も奮起

修了生は4月から各地で営農を開始している。就農後は慌ただしい日々が続くと思うが、健康第一に消費者や地域に喜ばれる魅力ある農業を展開してほしい。

### 第3期生(2年生)は就農モデルでの栽培実証が始まっている。4月中旬からは派遣研修や講義などもあり大忙しだが、先輩たちの行動を見てきたこともあり、皆1年の時とは別人のように、積極的に行動している。

就農に向けて本番モードでチャレンジできる大切な年になる。何時、何処へ、どのような商品で、どんなお客様に、どう売っていくのか？を深く考えながら、失敗を恐れず、実践経験を積み重ねてほしい。

### 第4期生入講式

令和5年度第4期生入講式が4月7日に立川庁舎講堂で行われた。新研修生は20代から40代の5名。

岩瀬理事長からは「昨今、食料自給率やエネルギー問題、コスト高、労働市場、少子化など多くの課題があるが、東京では直売、学校給食への供給、食育・コト消費、援農ボランティア活用など、東京での農業の強

み・魅力を生かすことが肝要。創意工夫して儲かる農業ができるよう財団を挙げて応援していく。この2年間を充実させ、東京農業を担う農家になってほしい。一緒に頑張っていきたい」とエールが送られた。

また、ご来賓の東京都農業振興事務所の渡邊所長と東京都農林水産部の渋谷課長からは「ご入講おめでとうございます。東京で新しい農家になるため、様々な知識や技術をしっかりと身につけてほしい。新たな東京都農業振興プランの中でも担い手の確保・育成は最重要事項として位置づけており、様々な支援策を講じていく。将来、皆さんには東京農業の中心となって活躍できる農家になることを祈念している」など、心温まる祝辞をいただいた。



## 1～3月の主な出来事

### (1月)

- ・11日 チャレンジ事業説明会、12日 進行管理
- ・19日 クボタオンライン説明、20日 練馬区農業委員会来所
- ・21日 内定者説明会、26日 八農振来所、27日 マナー研修
- ・フードシシ提供 11、13、20、23、25、27日

### (2月)

- ・1日 小笠原村来所、6日 亜熱帯農セ、8日 指導農業士認定式
- ・21日 農業振興事務所、JA中央会、24日 瑞穂農地視察
- ・27日 就農準備支援会、28日 札幌講習会
- ・フードシシ提供 1、3、13、15、17、24、27日

### (3月)

- ・1日 秋田県農林課来所、9日 昭島市農業委員会来所
- ・13日 東村山市農業委員会、15日 瑞穂町農業委員会
- ・17日 研修成果報告会、24日 第2期生修了式
- ・フードシシ提供 1、3、10、15、17、27、29、31日

### 第4期生からの声を一言ずつ紹介する。

①磯田茉莉夫(三鷹市)さんは、大消費地である東京はビジネスチャンスも多い。小さくても強い農業を目指していきたい。②加藤秀隆(町田市)さんは、学生時代からの夢、家族も同意。新規参入でも稼げる農家モデルになれるよう頑張りたい。③熊川健(八王子市)さんは、人のためになる新しい農業のしくみを考えながら行動していきたい。将来楽しみにしていきたい。④佐藤敦史(立川市)さんは、これまでの農業にインベシジョンを起こし、子供たちが憧れるような農業を目指し、しっかりと学びたい。⑤横山遼(八王子市)さんは、

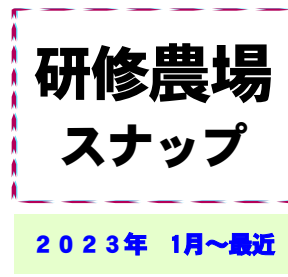
### これまでの天候

1月から2月上旬までの気温はほぼ平年並みだったが、2月中旬以降の気温は1.5℃高く推移したことから東京の桜の開花は、3月14日と早かった。降雪は2月10日のみ、降水量は1月から3月中下月まで少なく、畑は乾燥気味であった。

### 職員の異動

(転入) 浅田幸枝、(転出) 矢引達人、(臨職採用) 吉村智成、(臨職退職) 中村一生。





各種SNS情報

研修農場では、研修状況等をツイッターやフェイスブック、インスタグラム、ユーチューブで配信しています。ぜひ「東京農業アカデミー八王子研修農場」と検索してみてください！フォローもお願いします！



農総研土肥チームによる実地講座(1/12)



手書きPOPづくり講習(1/25)



基本的なマナー講習(1/27)



農業デザイン特別講習(1/31)



練馬区農業委員及び事務局視察(1/20)



八農振と八丈島町役場が視察(1/26)



刈払機取扱作業安全衛生教育(2/28)



昭島市農業委員、経営者クラブ視察(3/9)



サフランの苗床作成と植付け(2/中下旬)



ハウスづくり研修(2/中旬)



第3期生は月々自分の区画圃場での畑づくりや苗定植など皆真剣かつ主体的に取り組んでいる



畜産技術科の協力を得て100馬力近いトラクターの運転講習も実施(3月上旬)

第2期生修了式  
(3/24)農道完成  
(3/上旬)  
将来活用できそうな果樹類等を順次植栽中

新年度の顔